

# 馬主だより

第78号

平成28年4月15日

発行 (一社)ばんえい競馬  
馬主協会事務局

## ☆ 馬券発売額 10%増過去最高を更新 3年連続黒字額確保へ！！

▼先月28日、2015年度のばんえい競馬開催の全日程が終了致しました。帯広市単独開催となった07年度以降過去最高だった昨年度の発売額を大幅に更新する145億8千万円(前年比10.3%増)。帯広競馬場の入場者数も28万人超(同1.7%増)となり過去最高を記録しました。▼インターネットの発売が好調で、発売額全体に占める割合も66.3%に達し、単独開催になった07年度当時15.7%に比べ4倍超。▼これまでインターネットの発売を伸ばす目的で、他の競馬開催が少ないナイターや薄暮時間帯の開催を拡大。また、他の地方競馬でばんえい競馬を発売する日を増やすなどしてきました。こうした取り組みが功を奏し、13年度には9,958万円の黒字を計上。14年度には、施設整備基金を含め2億6452万円の黒字。今年度は、降雪により開催が1日中止になったことや報償費の増額などで若干収益は減少しますが、2億円程度の黒字を見込んでいるようです。▼帯広市は、昨年1月から関西、中京圏のスポーツ紙への馬柱(競走馬予想の基礎になる出走馬などの情報)の掲載を開始したことが発売増につながっていると判断。新年度は、更に掲載紙を増やし、全開催日のメインレースの馬柱を掲載するなどの情報を充実する予定。単独開催10年目の節目を迎える今年度、更なる飛躍を願って！！

### 平成27年度 ばんえい競馬 発売成績(最終)

開催152日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成28年3月28日終了時

区分	発 売 金 額							
	平成27年度			平成26年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	152	1,481,134,100	1,533,198,000	153	1,545,688,100	96.60	95.82	
直営場外	旭川北彩都	152	803,794,200	836,442,000	153	938,158,900	96.10	85.68
	ミトスポット北見	152	364,140,000	375,326,000	153	370,369,100	97.02	98.32
	ハロンス岩見沢	152	247,779,200	260,003,000	153	281,030,500	95.30	88.17
	ハロンス釧路	152	112,117,100	115,069,000	153	114,998,000	97.43	97.49
	ハロンス名寄	152	116,451,000	117,679,000	153	137,466,200	98.96	84.71
	アプスポット網走	152	82,022,100	87,851,000	153	123,108,400	93.37	66.63
	琴似駅前	152	146,477,100	153,068,000	153	129,723,800	95.69	112.91
	イルムふかがわ	152	115,444,700	120,230,000	153	123,645,400	96.02	93.37
電投	オッズパーク	152	4,757,874,200	4,991,286,000	153	4,296,372,000	95.32	110.74
	OP(七重勝)	152	51,176,000	114,582,000	153	47,600,900	95.19	107.51
	OP(五重勝)	152	57,893,800		153	35,778,800		161.81
	競馬モール	152	3,845,502,800	3,993,638,000	153	2,894,878,800	96.29	132.84
	SPAT4	47	959,052,800	995,110,000	51	739,193,500	96.38	129.74
広域場間場外	—	1,483,456,500	1,506,518,000	—	1,440,340,200	95.48	99.87	
場外・電投計	—	13,098,181,500	13,666,802,000	—	11,672,664,500	95.84	112.21	
合 計		14,579,315,600	15,200,000,000		13,218,352,600	95.92	110.30	
1日平均	152	95,916,550	100,000,000	153	86,394,461	95.92	111.02	

平成27年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第26回5日目まで152日間)

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第26回5日目まで153日間)

## 会議等の様子

### ○ 平成 27 年度第 7 回執行役員会開催！

#### ～特定資産運用方法 診療業務、診療所運営等について協議～

平成 28 年 3 月 19 日(土)当協会事務局会議室において、平成 27 年度第 7 回執行役員会を開催。第 5 回理事会に先立ち執行役員に於いて意見調整を行いました。

理事会の議案では、競走馬弔慰金給付規程改正案、また、平成 28 年度の事業計画案及び収支予算案等、理事会に提案する内容について事前審議を致しました。

その他、年度末になり定期預金の満期を迎え、今後の基金(基本財産)及び運営資金の運用方法について審議。また、診療業務補完事業及び診療所運営に関する当面の課題については、今年度から実施した事業という事もあり、初めて直面する様々な課題の解決に向け、今後とも、帯広市、当協会、診療所の三者に於いて、情報共有を図りながら対応していくこととなりました。これらを踏まえて当該事業に係る新年度予算措置及び執行方針等について審議致しました。

#### 【執行役員会議事】

- (1) 平成 27 年度第 5 回理事会議案について
- (2) 特定資産の運用方法について
- (3) 診療業務補完事業及び診療所運営に関する当面の課題について
- (4) 臨時的任用職員の求人について
- (5) その他

### ○ 平成 27 年度第 5 回理事会開催！

#### ～平成 28 年度事業計画案及び予算案について可決承認される～

平成 28 年 3 月 19 日(土)当協会事務局会議室において、平成 27 年度第 5 回理事会を開催致しました。

報告事項は、帯広市から平成 28 年 3 月 8 日付け「平成 28 年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情書」に対する回答を得たので、この内容について報告しました。<sup>注1</sup>

議案第1号競走馬弔慰金給付規程の改正については、以前から懸案事項でありましたが、今般、馬の売買価格高騰等を理由に、弔慰金の金額を見直すべきとの見解から、今回、改正することとなりました。また、格付基準についても現況に合わせて見直すこととなりました。<sup>注2</sup>

議案第2号平成28年度事業計画(案)、議案第3号平成28年度収支予算(案)の承認については、審議の結果、原案のとおり全会一致で可決承認されました。<sup>注3</sup>

その他、平成 28 年度のばんえい競馬実施方針説明会を第 1 回能力検査終了後に実施するよう帯広市に要請することになりました。

また、能力検査の翌日 4 月 11 日(月)午前 10 時から、帯広競馬場に於いて臨時家畜市場を開設することを決定しました。

注1：「平成 28 年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情書」及び当該回答書については別紙のとおりです。

注2：競走馬弔慰金給付規程の改正内容につきましては、先に送付した「平成 28 年度競走馬弔慰金の概要」(競走馬の格付基準及び弔慰金の額)でご確認ください。

注3：平成 28 年度事業計画及び収支予算につきましては、5 月の通常総会に於いてご報告致します。

#### 【第5回理事会議事】

日程1	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
	報告第2号	競走馬弔慰金の給付額の決定について
	報告第3号	平成28年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情書回答について
日程2	議案第1号	競走馬弔慰金給付規程改正(案)について
日程3	議案第2号	平成28年度事業計画(案)の承認について
日程4	議案第3号	平成28年度収支予算書(案)及び附属明細書の承認について
日程5	協議案第1号	平成28年度ばんえい競馬実施方針説明会の開催
日程6	その他	① 次回理事会、通常総会日程について ② 臨時家畜市場開設について ③ 楽天競馬当協会会員向けキャンペーン実施 ④ 週刊ポスト掲載「ばんえい競馬冬物語」山岸伸撮影

### ○ 理事の職務の執行状況等 監事監査実施！！

#### ～平成27年度事業報告 平成28年2月期決算監査～

平成28年3月21日(祝、月)当協会事務局会議室において、平成27年4月から平成28年2月期における監事監査を実施致しました。

監査は、理事者を代表して赤堀代表理事会長及び長津専務理事立会のもと、堂場監事が当日急用により欠席となった為、宝田監事により監査を行うことになりました。

監査にあたり事務局から次の監査資料の説明があり、その後、平成27年度の事業報告の概要、理事の職務の執行状況、又、協会の業務並びに財務及び会計の状況について監査が行われました。

今回、年度の途中で、しかも監事1人で急遽監査する事になった事もあり、監査の講評については、次回、4月に実施する平成27年度の決算監事監査で行うこととなりました。

#### 【監事監査資料】

- 資料1 平成27年度事業実施報告(見込み)
- 資料2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況(見込み)
- 資料3 平成27年4月～平成28年2月期決算報告書(財務諸表)  
貸借対照表、正味財産増減計算書、予算対比正味財産増減計算書、  
収支計算書、予算推移付収支予算管理月報、財産目録、  
正味財産増減計算書内訳書、特定資産の増減及びその残高  
固定資産の取得価格、減価償却累計額、当期末残高、平成27年度流通  
促進事業(臨時家畜市場)収支、純益総括表
- 資料4 その他参考資料  
平成27年度機構図、平成27年度新規会員、平成27年度会員資格喪失者、  
平成27年度会員資格喪失対象者

## 情報・ご案内

### ○ 帯広市議会定例会開催！！

#### ～新年度経済波及効果調査 ばんえい競馬運営ビジョンに反映～

平成28年3月9日に開催された帯広市議会定例会で、一般質問を行い、帯広市は、新年度に地域経済への波及効果を調査する考えを示し、2016年度に見直す「帯広市ばんえい競馬運営ビジョン」の中に盛り込む方針を明らかにしました。

現行のビジョンは 16 年度までで、帯広畜産大学が 10 年に行った調査を基に経済波及効果を 57 億円と試算している。

佐藤徹也ばんえい競馬振興室長は、「発売日、馬の生産状況、観光客数、消費動向が変わっている所以地域経済への貢献度を再確認する意味から新年度に実施する。17 年度以降の安定運営を目指すべく見直しをしたい。」との考えを表明しました。

## ○ 帯広市競馬法違反事案への対応 再発防止策策定！！ ～関係者自らを律する サークル全体で不祥事案を防ぐ～

平成 28 年 3 月 14 日、帯広市は、きゅう舎関係者による競馬法違反事案発生を受けて検討を進めていた再発防止策を公表致しました。

法令順守の徹底などきゅう舎関係者の意識改革を軸に、監視体制の強化、外部とのコミュニケーションの場の形成などを盛り込んだ。

事案発生の最大の要因は、「きゅう舎関係者の競馬法順守の重要性に対する自覚の欠如」と結論付け、さらに調教師の管理責任、即ちきゅう務員に対する指導が不十分であったことも一因とした。帯広市は、監視体制や法令順守に関する取組みが不十分であったとしています。

きゅう舎関係者の意識改革に向けては、帯広市、調教師会・騎手会で「公正確保規律委員会」を新たに設置し、全ての信用失墜行為を撲滅するため、法令順守の勉強会やきゅう務員の教育を実施。

調教師、騎手全員が出席する訓示会については、調教師は月初めに(年間 12 回)、騎手については、毎開催初日(年間 26 回)実施。また、レース期間中は終日、騎手、きゅう務員所有の携帯電話を回収するなど管理を強化。また、警察OBを配置して競馬場内の監視体制を強化。そのほか、競馬場周辺の美化活動やファンサービスを通じて、関係者が常に外部からの目に晒されているという意識を高める。このように再発防止に向けては、ばんえい競馬関係者が一丸となって取り組む決意を表わし、「次にこのような事案が起これば、ばんえい競馬の未来はない」、といった気持ちで運営に取り組むとしている。

注：上記により策定された再発防止策は、別紙「ばんえい競馬きゅう舎関係者による競馬法違反事案への今後の対応」のとおりです。ご参照ください。

## ○ 帯広市 再発防止へ新たに専任職員配置 17 年度導入目指す！！

きゅう舎関係者が競馬法違反の疑いで書類送検された事案で、帯広市は 3 月 14 日に公表した再発防止策の一環で、新たに競馬開催業務全般を担当する専任職員の導入に向け検討を始めた。市の監視体制が不十分だったとの反省もあり、早ければ 2017 年度から長期的に運営を担う選任の嘱託職員を配置し体制を強化する考え。

帯広市は、「競馬開催に関わる専門職員が存在しない中、市の運営体制が脆弱で、監視体制が不十分だった」として、「不測の事態に対応する能力を有する専任職員の配置が今後の課題。」としている。

市によると、現在 7 人いる専任嘱託職員の業務は馬場の管理などに限られ、4 月から雇用する警察OBも暴力団関係者の入場や関係者への接触を防ぐ業務に専念する予定。開催業務などを担当している市の正職員は、数年おきに異動するため、長期的に運営を担い、再発防止策の進展状況を点検できる人材が必要としている。

## ○ 第48回ばんえい記念 フジダイビクトリー号初栄冠に輝く！！

### ～今年度の最高峰レース 大接戦を制し昨年の雪辱を果たすV～

平成 28 年 3 月 20 日、ばんえい競馬最高峰のレース「第 48 回ばんえい記念」が行われました。

帯広競馬場には、現役最強馬の力走を一目見ようと道内外から約 4,400 人が詰めかけスタンドを埋め尽くした。

1 番人気のフジダイビクトリー号(雄 8 歳、金山きゆう舎、松田騎手)は 4 番手から一気に追い上げ、ゴール直前で先行馬を差し優勝しました。

昨年は残り 5 分で逆転され涙をのんだが、今年は見事雪辱を果たし初優勝となりました。おめでとうございます！！

なお、ばんえい記念当日、2016 年 3 月 20 日(日・祝)の一日の発売額は 130,386,800 円(昨年 119,638,600 円)、ばんえい記念単体の発売額は 42,915,900 円(昨年 41,500,800 円)、入場者数は 4,443 人(昨年 4,176 人)となり、いずれも前年を上回りました。

<フジダイビクトリー号のプロフィール> ※2016 年 3 月 20 日現在  
生年月日・毛色:2008 年 3 月 17 日(牡 8 歳・栗毛)  
血統:父 ウンカイ 母 シュクノハルヒメ (母父)ロングボーイ  
生産者:本寺 政則氏  
馬主:株式会社 三上建設様  
厩舎:金山 明彦厩舎  
通算成績 :152 戦 27 勝(うち重賞 7 勝)

## ○ 平成 28 年度第 1 回能力検査実施！！

### ～2 歳新馬 187 頭申込みのうち 134 頭が見事合格～

平成 28 年 4 月 10 日帯広競馬場に於いて平成 28 年度第 1 回能力検査が実施されました。天候は晴れ、馬場水分は 3.0%～2.5%。

2 歳の申込み頭数が 187 頭のうち、出走取消 6 頭と競走除外 1 頭で、当日は 180 頭が出走しました。合格馬 134 頭、不合格 46 頭という結果となりました。合格率は 74.4%でした。

当日のトップタイム(1 番時計)の馬については、第 4 レース 9 番 ホクショウムゲン号(牡 2 鹿毛:服部厩舎 鈴木恵介騎手騎乗)が 1 分 12 秒 0(馬場水分 3.0%)で 1 番時計となりました。

なお、合格した馬は、平成 28 年 4 月 22 日(金)の第 1 回開催から順次デビュー致します。

ばんえい十勝 平成 28 年度第 1 回能力検査 成績

	2 歳	※参考 H27 年度
出走予定馬	187 頭	190 頭
出走馬	180 頭	185 頭
合格馬	134 頭	176 頭
合格率	74.4%	95.1%

※H27 年度は 3 歳馬 1 頭を含みます。

## ○ 今年度第 1 回臨時家畜市場開設！！

### ～高値で売買～

平成 28 年 4 月 11 日(月)帯広競馬場内において平成 28 年度第 1 回臨時家畜市場を開設いたしました。取引結果については下記のとおり。

平成 28 年度臨時家畜市場開設成績

回数	開催月日	開催場所	出場頭数 (頭)	成立頭数 (頭)	成立率 (%)	取引総額 (円)
第1回	4月11日	帯広競馬場	12	10	83.3	14,871,600

回数	オス最低価格 (円)	オス最高価格 (円)	メス最低価格 (円)	メス最高価格 (円)	平均価格 (円)
第1回	864,000	1,566,000	1,587,600	1,728,000	1,487,160

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
3月6日	第47回 イレネー記念	フウジンライデン	田中 猛	岩本 利春
3月13日	第37回 ポプラ賞	センゴクエース	千石 貞子	槻館 重人
3月20日	第48回 ばんえい記念	フジダイビクトリー	(株)三上建設	金山 明彦

**優勝おめでとうございます！**

#### ◆ 第 47 回イレネー記念（3歳オープン）

単勝 8 番人気のフウジンライデンが優勝。ナナカマド賞に次ぐ重賞勝利を収め、世代の頂点に君臨しました。

ヤングチャンピオンシップ勝ちを含め、デビューから【7・3・2・5】のホクショウディーブが単勝 1.5 倍の圧倒的 1 番人気。2 番人気のキタリユウキが 6.6 倍と離れた 2 番人気で、ほぼ一強態勢という戦前予想になりました。前走もハンデを課せられながら快勝しているだけに、定量戦の今回はホクショウディーブがどう勝つか焦点となりました。

馬場水分は 2.6% でスタート。各馬とも初めて曳く重量ながら、軽快に第 1 障害を突破していきます。中間点あたりで思い思いに脚を止め、多少ばらつきが出はじめますが、上位 6、7 頭はほぼ横一線で進み、勝負どころの第 2 障害を迎えました。ひと息入れて、最初に仕掛けたのはプレゼントウェー。それを見てホクショウディーブが動き、ツルイテンリュウ、グレースゴールド、サクラダイチなどが次々と障害に挑みます。先頭で天板に脚をかけたのはホクショウディーブで、懸命に腰を入れて登り切ります。じっくりためていたキタリユウキも抜群の登坂を見せ、この 2 頭が並んで障害を突破。さらにアラワシキング、グレースゴールドが続き、フウジンライデンもこの一角で障害を下りていきました。

軽快に歩き続けるホクショウディーブが、残り 30 メートル付近でさらにリードを広げて先頭。2 番手争いが激化し、グレースゴールド、アラワシキング、フウジンライデン、キタリュウキが横並びで追いかけます。先頭のホクショウディーブは残り 20 メートルを切ったあたりでいったん脚を止めますが、再度歩き始め、リードを保ったまま残り 10 メートル標識を通過。この時点で勝負あったかと思われましたが、ホクショウディーブは再び脚を止めてしまい、後続が一気に接近。何とか立て直し、先頭でゴールに馬体をねじ込みますが、荷物をゴール線の向こうに残した状態でストップ。その隙に、しぶとく歩き続けてきた 3 頭がゴール線を突破し、激戦に終止符が打たれました。先頭でゴールしたのはフウジンライデン。わずか 0 秒 6 差でアラワシキングが 2 着で入線し、さらに 1 秒 1 差の 3 着にキタリュウキ。結局ホクショウディーブは 4 着に終わりました。

勝ったフウジンライデンは重賞 2 勝目。近況が振るわなかつただけに低評価(単勝 8 番人気)でしたが、この大一番でタイトルウィナーの底力を見せつけました。障害 5 番手からジワジワと追い込んだレースぶりも良く、今後重量を課せられても活躍が期待できるでしょう。

アラワシキングは多少勝ち切れない面がありますが、ここで 2 着に食い込み、地力の高さを証明しました。馬体を絞って臨んできたことも、陣営の並々ならぬ意欲の現れ。今後の大舞台でも好勝負できるでしょう。

キタリュウキはヤングチャンピオンシップに続く重賞 3 着。690 キロながら障害をあっさり突破したレースぶりが良く、重量を積まれる一戦では要注目の存在となりそうです。

#### ◆ 第 36 回ポプラ賞 (4 歳・5 歳オープン)

単勝 1 番人気のセンゴクエースが優勝。これで重賞は 6 勝目で、世代限定戦では 13 戦無敗。来たるべきセンゴクエース時代へ、期待をもたせることとなりました。

実績上位のセンゴクエースですが、今回はトップハンデの 790 キロ。同じ 4 歳のコウリキやキンメダルと比較しても 40 キロの差があるだけに、その不安がオッズに反映された印象です。その点、5 歳のハクタイホウがばんえい菊花賞制覇、天馬賞 2 着の実績がありながら 770 キロ。このハンデ差がレースにどう影響してくるか、注目を集めました。馬場水分 1.6% でゲートオープン。砂煙を上げながら 10 頭が第 1 障害を突破しますが、サダエリコがギャロップで先頭へ。そのまま馬群をリードし、主導権を握ります。カゲホウトウ、ホクショウモモ、ハクタイホウなどがこれを追走。徐々にペースダウンしたか、各馬が横一線となり、勝負どころの第 2 障害を迎えました。

センゴクエースとハクタイホウがほぼ同時に仕掛け、それを見てキンメダル、シリウスも登坂を開始します。なかでも抜群の登坂を見せたのがセンゴクエースで、ふた腰目で障害を突破。やや遅れてハクタイホウ、カISINGキ、カゲホウトウが並んでクリアし、キンメダルとコウリキもこの一角で追撃態勢に入りました。

しかし、先頭に行くセンゴクエースの手応えは余裕たっぷり。軽く気合をつけられるたびに、しっかりと脚どりを見せ、残り 10 メートルを切ったからは鈴木恵介騎手の手綱もほぼ動きません。そのままリードを保ってゴールに飛び込み、世代王者の力を見せつけました。2 着争いが激しくなり、ジワジワと脚を伸ばしたコウリキが、カISINGキとハクタイホウを追撃。残り 10 メートル付近でこれらをかわして 2 着を確保。さらに 2 秒 4 差の 3 着にハクタイホウが入線しました。

ハンデ差がありながらワンサイドレースで制したセンゴクエース。古馬オープンが相手では苦戦を強いられていますが、世代限定戦では圧倒的な強さを見せています。さらなる成長がカギとなりますが、このまま順調なら、間違いなくばんえいを背負う存在となるはず。今からそのときが楽しみです。

## ◆ 第 47 回ばんえい記念（4歳以上オープン）

単勝 1 番人気のフジダイビクトリーが優勝。今シーズン 3 つめのタイトルを獲得するとともに、ばんえいの頂上決戦を見事に制しました。

今季の北斗賞、ばんえいグランプリを制したフジダイビクトリーが 2.5 倍で 1 番人気。前半の活躍ぶりから重量を課せられていたのが響いていた印象で、定量戦、しかも昨年ゴール寸前まで好勝負を演じたばんえい記念なら巻き返しの余地は十分。昨年の覇者キタノタイショウ、5 連続連対中のニュータカラコマの 3 頭に人気が集出し、三つどもえの様相で頂上決戦のゲートが開きました。1 トンの重量だけに、第 1 障害でホリセンショウが脚を止める場面もありましたが、まずは無事に全馬が突破。中間点へ向け再三脚を止めながら、ゆったりとしたリズムを刻みます。フジダイビクトリーがわずかに馬群をリードしますが、各馬とも自分のペースを守りながらの追走。時間をかけて第 2 障害下にたどり着き、じっくりと呼吸を整えます。

最初に動いたのはフクドリでしたが、登り口でストップ。次に動いたフジダイビクトリー、ニュータカラコマが切れのある登坂を見せ、天板近くまで上がります。それを見て、他馬も仕掛けはじめますが、どの馬も決定力を欠き、ほぼ全馬が障害上で横並びに。それを打破したのはニュータカラコマ。天板に脚がかかり、腰を入れ直して障害をクリア。先頭で最後の平坦路に向かいます。だいぶ遅れてコウシュハウンカイが突破。トレジャーハンター、フジダイビクトリー、インフィニティーも難関をクリアして追撃態勢に入りました。先頭のニュータカラコマは懸命に歩を進め、いったん差を詰めてきたコウシュハウンカイを再度振り切りにかかります。進んでは止まり、また進んでは止まり、障害でのリードを切り崩しながらも、何とか先頭をキープ。むしろ追っていたコウシュハウンカイが苦しくなります。

そこへ台頭してきたのがフジダイビクトリー。残り 20 メートル付近までノンストップで歩き続け、ニュータカラコマを射程圏に入れます。そこからもう一度歩き始め、残り 10 メートルで先頭に並びかけると、ニュータカラコマがストップして勝負あり。その後もしっかり歩いたフジダイビクトリーが余力十分に荷物を運び切り、頂上決戦での先頭ゴールを果たしました。苦しみながらもニュータカラコマが 2 着で入線。コウシュハウンカイはゴール前でインフィニティーの激しい追い上げに遭いましたが、しぶとく粘って 3 着でゴール。以下インフィニティー、ホクシヨウユウキと入り、最下位のフクドリまで、全馬が完走を果たしました。

昨年のばんえい記念で、ゴール寸前まで好勝負を演じたフジダイビクトリー。1 年越しの悲願が今回、達成されました。思えばシーズン前半は重賞 2 勝を挙げ、古馬戦線の中心的存在として活躍。その後は重量を積まれたこともあって善戦止まりでしたが、定量戦の今回は実力を発揮。しかも、1 トンを曳きながら、ゴール前の平坦路で 1 度しか脚を止めないという、圧巻のレースぶりでした。いかにも王者にふさわしい内容だけに、来年度も貫禄を見せてくれることでしょう。

もくろみ通り、先行して粘り込みを図ったニュータカラコマ。最後は勝ち馬の末脚に屈しましたが、あわやと思わせたレースぶりに、今の充実ぶりがうかがえました。やはり実力はばんえい屈指で、今後も馬場や展開次第でビッグタイトルを手にすることができそうです。

6 歳のコウシュハウンカイが 3 着。多少勝ちみに遅い面はありますが、今回の出走メンバーの中では一番若く、さらなる成長が望めるでしょう。来シーズンも注目の存在です。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。